

平成20年度

東京土木施工
管理技士会

定時総会を開催

5月20日、
港区元赤坂の「明治記念館」
において、
平成20年度定時総会を
開催しました。
ここにその概要を
報告します。

第1号議案

平成19年度事業報告並びに 同収支決算に関する件

1 平成19年度事業報告

【はじめに】

会員各位のご支援・ご協力により、平成19年度事業を遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

平成19年度は、土木技術者の技術力の維持・向上を支援するため、1級土木施工管理技術検定試験受験準備講習会をはじめ、若手技術者を対象とする講習会などを8回開催したほか、会員会社が施工する都市土木工事現場を2か所視察いたしました。

また、異業種他分野等各種施設の視察として、財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）を見学したほか、都民の暮らしを支える土木技術への理解を深めていただく取組みとして、「建設技術展示会」を(社)東京建設業協会と共催いたしました。

さらに、最近の土木技術者を取り巻く諸課題など、多面的な「会員の意識調査」を実施いたしました。今後は集計結果を精査し、事業活動に反映してまいります。

このほか、機関誌『DOBOKU 技士会 東京』の発行やホームページを活用し、技士会事業のPRと土木施工管理に関する情報提供に努めたことにより、新たに2桁の会員が入会いたしました。

【事業概要】

＜1＞技術力の維持・向上に関する事業

① 各種講習会の実施

- 1) 直前受験準備講習会（1級土木施工管理技術検定試験）⇒ 夜間コース／昼間コース
- 2) 現場代理人を目指す技術者の基礎的な技能習得のための講習会
 - コンクリート施工技術講習会
 - 現場管理スキルアップ講習会
 - 仮設構造物の設計講習会
 - 若年技術者育成のための指導者講習会



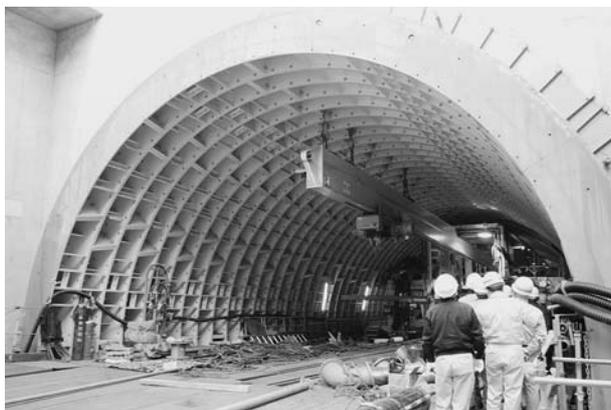
若年技術者育成のための指導者講習会

3) 土木施工管理技士として総合的な技能習得のための講習会

- 安全管理講習会
- 環境管理講習会
- 建設業のCSRと現場のリスク管理・コンプライアンス講習会

② 土木工事現場視察の実施

- 京急蒲田駅付近連続立体交差事業
- 首都高速中央環状新宿線大橋ジャンクション



首都高速中央環状新宿線大橋ジャンクション視察

< 2 > 信頼回復と社会的地位の向上に関する事業

① 安全で安心な街づくりに活かされる土木技術のPR

- 「建設技術展示会」の共催

② 異業種他分野等各種施設の視察

- (財)日本建設情報総合センター (JACIC)

< 3 > 広報事業

- ① 機関誌『DOBOKU 技士会 東京』の発行
- ② ホームページの拡充
- ③ 入会の促進
- ④ 土木施工管理に関する情報収集及び提供

< 4 > 調査研究

- ① 会員の意識調査
- ② 事業運営に必要な各種調査

< 5 > 表彰

- ① 優良技術者表彰の実施
- ② 各種表彰候補者の推薦

< 6 > 連絡協議

- ① 関係行政機関・関係団体との連絡協議
- ② 会員との連携強化

2 平成19年度収支決算報告

■平成19年度収支計算書

収入の部 (単位：円)

勘定科目	予 算 額	決 算 額	差 異
大 科 目			
会 費 収 入	29,440,000	29,174,000	266,000
入 会 金 収 入	100,000	769,000	△ 669,000
事 業 収 入	3,500,000	2,944,680	555,320
雑 収 入	20,000	95,134	△ 75,134
当期収入合計(A)	33,060,000	32,982,814	77,186
前期繰越収支差額	39,800,000	39,761,157	38,843
収 入 合 計 (B)	72,860,000	72,743,971	116,029

(△印は収入増)

支出の部 (単位：円)

勘定科目	予 算 額	決 算 額	差 異
大 科 目			
事 業 費	25,260,000	24,749,799	510,201
管 理 費	7,300,000	7,069,859	230,141
引当預金支出	500,000	500,000	0
※積立預金支出	25,000,000	25,000,000	0
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
当期支出合計(C)	59,060,000	57,319,658	1,740,342
当期収支差額(A)-(C)	△ 26,000,000	△ 24,336,844	△ 1,663,156
次期繰越収支差額(B)-(C)	13,800,000	15,424,313	△ 1,624,313

(C) - 積立預金支出 = (ア) 32,319,658
 (A) - (ア) = 実質的な当期収支差額 663,156

※ 積立預金支出は、記念事業基金の5,000,000円と財政調整基金の20,000,000円です。

第2号議案

平成20年度事業計画案並びに 同収支予算案に関する件

1 平成20年度事業計画

【基本方針】

近年、予想を超える自然災害がたびたび発生し、安全・安心の街づくりが望まれています。同時に、わが国は世界一の超高齢社会に突入しました。

昨年の「会員の意識調査」は、多面的なテーマで実施しましたが、とりわけ団塊世代のリタイア、いわゆる2007年問題については、若年技術者への技術継承が進んでいない状況が見てとれます。

今後、調査結果を十分に精査し、技士会活動の方向性を探りつつ、各種講習会や工事現場等の視察など、技術力の向上を支援する事業を実施してまいります。

一方、建設業は、信頼回復に向けてコンプライアンスを徹底し、社会的責任の遂行が求められるなか、



定時総会の様子

価格と品質で総合的に優れた公共調達への取組みが本格化しつつあります。「現場」を担う土木技術者の役割は従来に増して大きく、より一層重要なものとなっています。

このようなことから、安全な街づくりを支える建設技術への理解を深め、信頼を取り戻すため、昨年度に続き、「建設技術展示会」を(社)東京建設業協会と共催します。

山田前会長退任あいさつ



東京土木施工管理技士会
前会長 山田恒太郎

平成18年から2年間、会長職を務めさせていただきましたが、会員の皆様をはじめ、役員の方々のお力添えにより、会長の職を大過なく果たすことができ、心より感謝申し上げます。

本日の役員改選により、とりわけ会長には、東京建設業協会の正副会長のうち土木担当である大豊建設の岡村康秀様が、副会長には、永年、技士会の運営を支えていただいております総務委員会委員長にご就任の戸田建設の香西慧様と、事業運営委員会の委員長である清水建設の柿谷達雄様がそれぞれご選任されました。

技士会の事業をより効率的・効果的に実施することができる体制が整ったのではないかと思います。

新役員のもと、会員の皆様が力を合わせ、技士会が大きく発展されることを期待しております。

会員企業のますますのご発展をお祈り申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

【事業計画】

- 〈1〉技術力の維持・向上に関する事業
 - ① 各種講習会の実施
 - 1) 直前受験準備講習会（1級土木施工管理技術検定試験）⇒ 昼間3日間コース/夜間6日間コース
 - 2) 現場代理人を目指す技術者の基礎的な技能習得のための講習会
 - 3) 土木施工管理技士として総合的な技能習得のための講習会
 - ② 土木工事現場視察の実施
- 〈2〉信頼回復と社会的地位の向上に関する事業
 - ① 安全・安心を実現する土木技術のPR
 - 「建設技術展示会」の共催
 - ② 異業種他分野等各種施設の視察
- 〈3〉広報事業
 - ① 機関誌『DOBOKU 技士会 東京』の発行
 - ② 会員名簿の発行
 - ③ ホームページの拡充
 - ④ 土木施工管理に関する情報収集及び提供
- 〈4〉調査研究
 - ① 「会員の意識調査」の研究
 - ② 各種講習会事業に対する調査
 - ③ その他事業運営に必要な調査
- 〈5〉表彰
 - ① 優良技術者表彰の実施
 - ② 各種表彰候補者の推薦
- 〈6〉連絡協議
 - ① 関係行政機関との連絡協議
 - ② 関係団体との連絡協議
 - ③ 会員との連携強化
- 〈7〉会議
 - ① 総会
 - 1) 定時総会
 - 2) 臨時総会
 - ② 理事会
 - ③ 監事会

〈8〉委員会

- ① 総務委員会
 - ② 事業運営委員会
 - 1) 講習会グループ会議
 - 2) 現場視察グループ会議
 - 3) 情報・広報グループ会議
- （運営体制については7頁「組織図」を参照）

2 平成20年度収支予算

■平成20年度収支予算書

収入の部 (単位：円)

勘定科目	予 算 額	前年度予算額	増 減
大 科 目			
会 費 収 入	30,640,000	29,440,000	1,200,000
入 会 金 収 入	100,000	100,000	0
事 業 収 入	3,500,000	3,500,000	0
雑 収 入	20,000	20,000	0
当期収入合計(A)	34,260,000	33,060,000	1,200,000
前期繰越収支差額	15,330,000	39,800,000	△ 24,470,000
収 入 合 計 (B)	49,590,000	72,860,000	△ 23,270,000

支出の部 (単位：円)

勘定科目	予 算 額	前年度予算額	増 減
大 科 目			
事 業 費	26,460,000	25,260,000	1,200,000
管 理 費	7,300,000	7,300,000	0
引当預金支出	500,000	500,000	0
積立預金支出	0	25,000,000	△ 25,000,000
予 備 費	1,000,000	1,000,000	0
当期支出合計(C)	35,260,000	59,060,000	△ 23,800,000
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,000,000	△ 26,000,000	25,000,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	14,330,000	13,800,000	530,000

第3号議案

役員任期満了に伴う選任に関する件

役員任期満了に伴う改選が行われ、とりわけ、新会長には1頁のとおり岡村康秀氏（大豊建設株）が、副会長には右のとおり香西慧氏（戸田建設株）と柿谷達雄氏（清水建設株）が選任されました。

なお、役員名簿は次のとおりです。

香西副会長



柿谷副会長

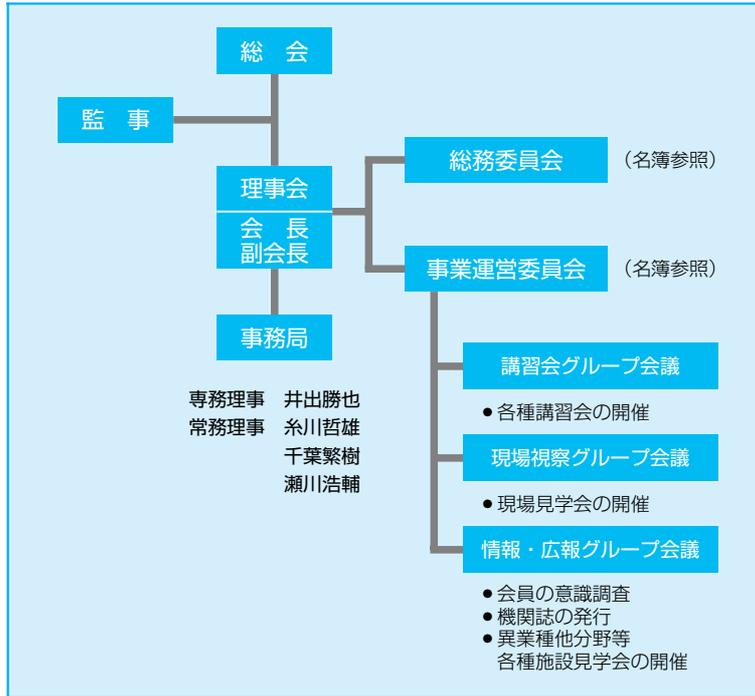
役員名簿

(敬称略)

	氏名	会社名		氏名	会社名	
会長	岡村康秀	大豊建設株式会社	理事	中込康博	飛鳥建設株式会社	
副会長	香西慧	戸田建設株式会社		石原俊英	株式会社ナカノフード建設	
	柿谷達雄	清水建設株式会社		古谷俊雄	西松建設株式会社	
理事	中川博	安藤建設株式会社		久松博三	日本道路株式会社	
	若林義男	小田急建設株式会社		大谷正気	株式会社間組	
	嶋村彰	オリエンタル白石株式会社		林清一	林建設株式会社	
	茅野正恭	鹿島建設株式会社		早坂健司	株式会社フジタ	
	石垣和男	株式会社熊谷組		西本哲二	前田建設工業株式会社	
	原田泰明	五洋建設株式会社		山田晴雄	三井住友建設株式会社	
	永島俊之	坂田建設株式会社		立川忠道	個人会員	
	大前和博	佐藤工業株式会社		監事	松山高久	白岩工業株式会社
	田村寿夫	大成建設株式会社			泉裕明	三井住建道路株式会社
	臼田總一郎	東急建設株式会社		専務理事	井出勝也	東京土木施工管理技士会
藤山隆司	東洋建設株式会社	常務理事		糸川哲雄	東京土木施工管理技士会	

(平成20年7月1日現在)

■東京土木施工管理技士会 組織図



■総務委員会名簿

(敬称略)

	氏名	会社名
委員長	香西 慧	戸田建設株式会社
委員	若林 義男	小田急建設株式会社
	茅野 正恭	鹿島建設株式会社
	遠藤 高明	共立土木株式会社
	田村 寿夫	大成建設株式会社
	多田 二三男	大豊建設株式会社
	浜辺 修一	東洋建設株式会社
	新谷 良司	前田建設工業株式会社

(平成20年7月1日現在)

■事業運営委員会名簿

(敬称略)

	氏名	会社名
委員長	柿谷 達雄	清水建設株式会社
講習会	田中 茂義	大成建設株式会社
	鶴見 健二	オリエンタル白石株式会社
	永井 英章	日本道路株式会社
	赤荻 博明	飛鳥建設株式会社
	水野 健介	株式会社間組
	現場視察	坂田 真一
越智 修		五洋建設株式会社
小島 信一		佐藤工業株式会社
塩島 秀人		林建設株式会社
立川 忠道		個人会員
情報・広報	加茂野 耕太郎	清水建設株式会社
	田辺 敏	株式会社熊谷組
	赤池 利孝	株式会社NIPPOコーポレーション
	川村 康宏	前田建設工業株式会社
	金子 光男	みらい建設工業株式会社

(平成20年7月1日現在)

